



# 職場体験版 まちのわだい

このページは、役場企画振興課に職場体験に来られた日野中学校2年生の藤澤啓太さんと南川朋輝さんが企画し、取材、編集されました。



7月1日から5日までの5日間、日野町、東近江市、近江八幡市の47か所の事業所で、日野中学校2年生184名が社会に出た時のために経験値を増やし、仕事とはどういうことかを学ぶため、職業体験を行いました。

## ブルーメの丘で働く2年生

### ブルーメの丘に取材に行って

ブルーメの丘では、計11名の中学生が体験にきていました。従業員の方はこのブルーメの丘について、「都市と町との交流の場で、お客さんにとっては癒しの場」と話されています。また、職業体験をしている中学生に対して、「将来役に立ててほしい」と話されていました。

中学生は、体験をやって「楽しい」「辛いけど、やりがいがある」などと言っていました。

中学生は、草むしりや、トイレの掃除、バラの枝の剪定などを体験していました。



▲レストランで掃除の体験



▲草むしりをしながら、インタビューに答えてくれました



◀ 10kgもある防火衣を着て整列をしている様子

## 5日間だけの消防士

### 日野消防署に取材に行って

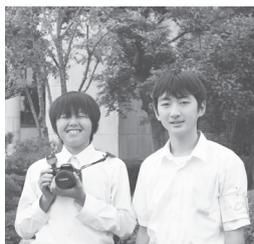
日野消防署では、10人の男子生徒が、職業体験をしていました。訓練では、10kgもある防火衣を着て体操をしたり、さらに、8kgもあるホースを担いで走ったりしていました。体験している生徒たちは、「厳しいけど楽しい」「体力がついていい」などと言っていました。

また、消防士の方は、「火事で助けを求めた人や、救急で苦しんでいる人たちを守り、また仲間や自分もけがに注意するなど、安全管理が番大事」と話されました。職業体験に来ている生徒に対して「みんな一生懸命やっている」「仕事の大変さが分かってもらえるとうれしい」などと話していました。

体験している生徒は、真剣な顔で訓練をしていました。



▶ 火事の現場で実際に使用したホースを洗う中学生



▲藤澤啓太 (左)  
南川朋輝 (右)

南川 朋輝

僕は、職業体験を通して初めて体験することが盛りだくさんありました。取材をして、たくさんの人にインタビューをし、広報ひのを作成することなど、大変なことがたくさんありました。カメラでの撮影の仕方がたくさんあることに気がきました。

仕事の大変さがよくわかりました。将来の仕事を決める参考になると思います。

藤澤 啓太

僕は、職業体験をして、改めて仕事の大変さがわかりました。この仕事では、ブルーメの丘や、消防署、教育長室で、取材をしたり、カメラを持って、写真を撮ったりしました。

とても大変でしたが、それを一年中している職員の方はすごいと思いました。僕も将来それくらい頑張れる立派な大人になりたいです。

## 編集後記